

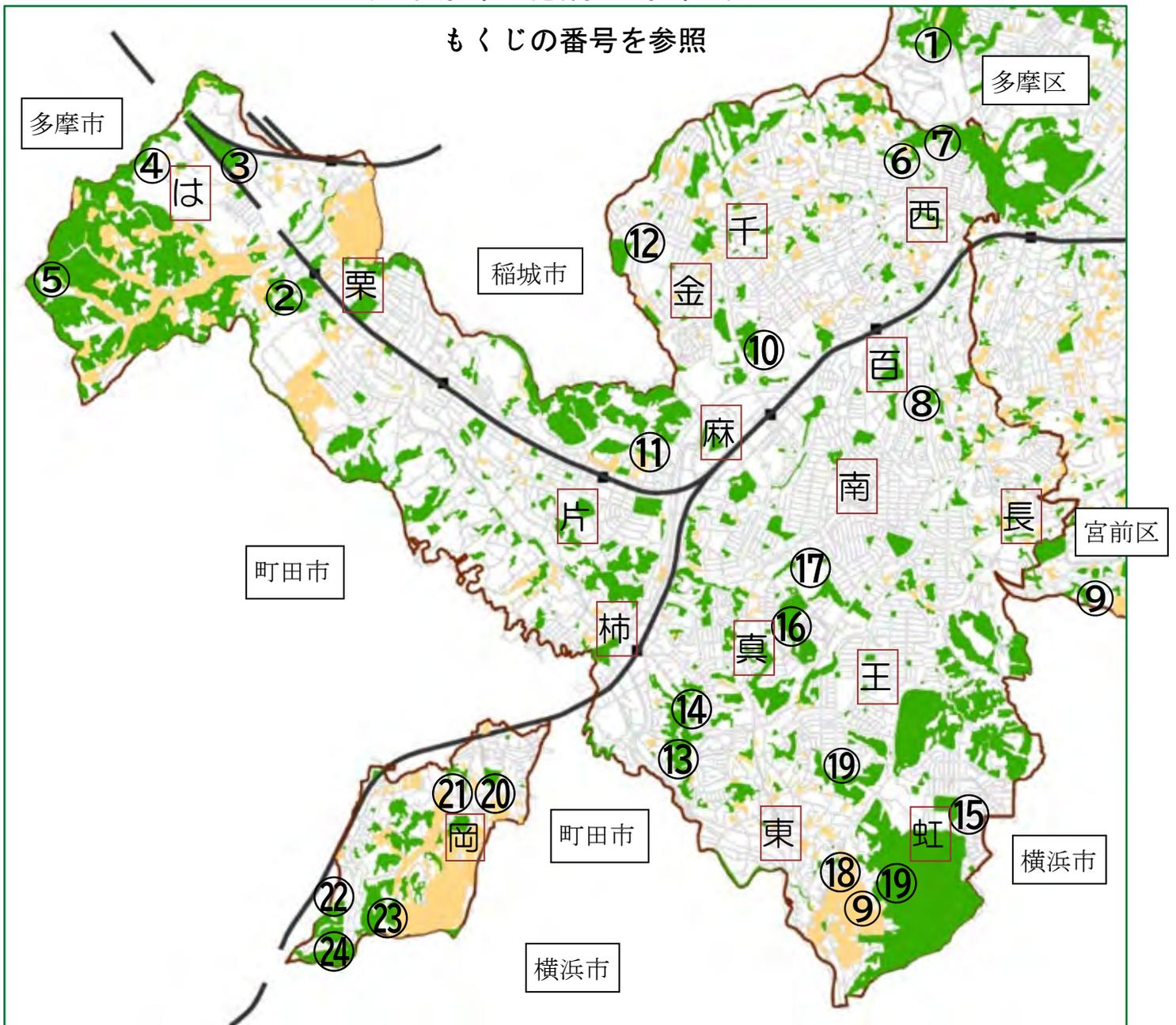
2023 里山フォーラム in 麻生 資料集 22

# 団体、施設の活動紹介

行政機関も含む

# 麻生区の緑のマップに 活動場所や施設の場所を記入

もくじの番号を参照



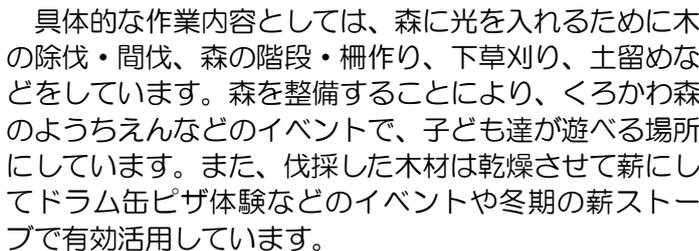
□は麻生区内の川崎市立小学校の位置です。

- はるひ野小 □栗木台小 □片平小 □柿生小 □岡上小  
 □東柿生小 □虹ヶ丘小 □王禅寺中央小 □眞福寺小  
 □麻生小 □金程小 □千代ヶ丘小  
 □西生田小 □百合丘小 □南百合丘小 □長沢小  
 別冊の『フォーラム資料集 小学校の紹介』参照

## もくじ

マップ 番号	団体名	ページ	マップ 番号	団体名	ページ
<b>多摩川流域</b>			<b>真福寺川流域</b>		
<b>三沢川流域</b>			⑩⑥	花と市民参加の会 “コスモス”	26, 27
①	小沢城址里山の会	4	⑩⑦	吹込クローバーの会	28
②	川崎市黒川青少年野外活動センター	5		(ひとやすみ)	29
③	はるひ野里山学校	6, 7	<b>早野川流域</b>		
④	水辺のある里山を守る会	8, 9	⑩⑧	があでん・ららら	30, 31
⑤	黒川里楽塾	10	⑩⑨	早野聖地公園里山ボランティア	32, 33
<b>五反田川流域</b>			<b>鶴見川本川流域</b>		
⑥	多摩美みどりの会	11	⑩⑩	麻生市民館岡上分館	34, 35
⑦	麻生多摩美の森の会	12, 13	⑩⑪	岡上郷土誌資料コーナー 岡上郷土誌会	36
⑧	高石みどりの会	14, 15	⑩⑫	和光大学・かわ道楽	37
<b>平瀬川流域</b>			⑩⑬	NP0かわさき自然と共生の会	38
⑨	はぐるま稗原農園	16	⑩⑭	和光大学地域連携研究センター	39
<b>鶴見川流域</b>			<b>特定の場所に限らない団体ほか</b>		
<b>麻生川流域</b>			25	麻生区クールアース推進委員会	40, 41
⑩⑩	麻生プレーパークを創る会	17	26	かわさきかえるプロジェクト	42, 43
⑩⑪	あさお生きごみ隊	18	27	グループ「せっけんの家」	44, 45
⑩⑫	森もりクラブ	19	28	ふらっと新百合ヶ丘	46
⑩⑬	柿生の里クラブ	20, 21	29	麻生ヤマユリ植栽普及会	47
⑩⑭	まちはミュージアム-遊歩道ファンク ラブ (おっ越し山クラブ)	22, 23	30	万福寺人参友の会	48, 49
<b>黒須田川流域</b>			31	麻生区地域教育会議	50, 51
⑩⑮	虹ヶ丘おやじの会	24, 25	32	麻生区子ども会連合会	52
			33	川崎市環境局総務部企画課	53
			34	里山フォーラムの活動概要 写真展入賞一覧など	54, 55

団体名	<b>小沢城址里山の会</b>		活動年数	23年
			メンバー数	43名
活動紹介	活動場所	川崎市小沢城址特別緑地保全地区		
	活動日	定例作業日；毎月第2土曜日、第4日曜日 10～12時 (6月、7月はサマータイム 1時間繰り上げ)		
	活動を始めた背景	2001年、川崎市里山ボランティア講座及び活動計画ワークショップを経て小沢城址の里山を愛する仲間たちが集い設立した。		
	活動内容；令和4年度も引き続きコロナ感染防止対策徹底で活動実施			
	1、活動の活性化と安全作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の作業指示担当者枠を拡大し、若手のモチベーション向上を図る</li> <li>・安全な省力化機材・用具の採用</li> <li>・発生廃材活用・畑作業で手づくりの楽しみを共有</li> <li>・里山講座 第2回；ロープワーク</li> </ul>		
	2、景観改善と里山再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道周辺の常緑樹の枝打ちで景観改善と実生広葉樹の成長促進を期待</li> <li>・引き続き広葉樹種蒔きで苗木の育成</li> </ul>		
	3、地域との連携活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元仙谷こども会と共催芋掘り会（今年度は芋の出来柄不作）</li> <li>・菅ふるさと祭り縮小実施で不参加、令和5年度例年規模開催期待</li> </ul>		
2022年度のトピックス	<p>1、ナラ枯れ被害木、遊歩道周辺や広場で約15本伐倒処理（行政実施）</p> <p>2、昨年植えた里帰りヤマユリは全数芽を出し、1本は2輪の花をつけた。2年目の開花を期待する。</p>			
課題	樹木の老齢化や自然災害による攪乱への林地再生は稚樹成長促進対策や応急植栽が求められる。また外来種のクビアカツヤカミキリによるバラ科（ヤマザクラなど）樹木への虫害が今後心配される。			
参加上の案内	<p>活動詳細；【公式】「小沢城址里山の会」HPをご覧ください。</p> <p>年間活動実施予定表は現地里山頂上の広場に掲示しています。</p> <p><input type="checkbox"/> 会員募集中 <input type="checkbox"/> 体験参加者募集中（道具なし受入可）</p> <p>（年会費 1000円、入会金なし）</p>			
代表者	名前	島岡 功		
	電話	090-9828-3795	E-mail	rtb62167@nifty.com
連絡先	同上			

名称	<b>川崎市黒川青少年野外活動センター</b>		活動年	13年※ネイチャーボランティア
			メンバー数	10～20名
活動紹介	活動場所	川崎市黒川青少年野外活動センター		
	活動日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイチャーボランティア：毎月第1日曜日 10:00～15:00 ※原則</li> <li>・小学校の里山体験の授業：随時</li> </ul>		
	<p>&lt;ネイチャーボランティア&gt;</p> <p>●活動を始めた背景            ネイチャーボランティアでは、子ども達が遊べる森・地域の方の憩いの森・明るく健康的な森を目指し、毎月地域のボランティアの方と「NPO 法人やまぼうし自然学校」の森林インストラクターの方にお越しいただき、森の手入れを行っています。</p> <p>●活動内容</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>孟宗竹の伐採</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>階段作り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>具体的な作業内容としては、森に光を入れるために木の除伐・間伐、森の階段・柵作り、下草刈り、土留めなどを行っています。森を整備することにより、くろかわ森のようちえんなどのイベントで、子ども達が遊べる場所になっています。また、伐採した木材は乾燥させて薪にしてドラム缶ピザ体験などのイベントや冬期の薪ストーブで有効活用しています。</p> </div> </div> <p>さらに今年度は、大きく成長しすぎたタケノコにひと手間加え、メンマにしました。2023年度はそれをプログラム化し、4月にメンマ作り教室を開催予定です！（詳細はホームページをご確認ください）</p> <p>&lt;小学校の里山体験授業&gt;</p> <p>薪割りや竹細工、飾り炭作りや枝集め等、「実体験」を通して里山を知ってもらう機会として、近隣小学校の「里山の授業」を実施しています。今年度は新たにセンター内だけでなく、近隣小学校へ出張指導も行いました。</p> <p>机上学習だけでは得られない、五感を刺激する体験を通して知った里山環境の保全や維持管理の大変さや大切さは、子ども達の心に残るものだと信じています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>二ホンミツバチの巣の説明中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ブンブンゴマ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>竹の植木鉢</p> </div> </div>			
2022年度のトピックス	<p>新たに、里山の授業で近隣小学校へ出張指導を行いました。竹を工作してブンブンゴマを作ったり、竹の植木鉢を作ってどんぐりの実生を育ててもらったりしました。</p>			
課題	<p>&lt;ネイチャーボランティア&gt;            サポーターの高齢化や新規の方が少ない。森の手入れに伴う備品の充実。</p> <p>&lt;小学校の里山体験授業&gt;            コロナ禍での大人数での実施の難しさ。他事業との兼ね合いでの日程調整。</p>			
参加上の案内	<p>■ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり）            興味のある方は下記へご連絡ください。</p>		<p>ホームページはこちら</p> 	
代表者	<p>名前 野口 透 住所 〒215 - 0035 麻生区黒川 313-9            電話 986-2511 FAX 986-2522 E-mail kurokawa@nots.gr.jp</p>			
連絡先	同上			

団体名	<b>はるひ野里山学校</b>		活動年数	18年
			メンバー数	24名
活動紹介	活動場所	黒川谷ツ公園(川崎市麻生区はるひ野5丁目9)小田急多摩線はるひ野駅		
	活動日	月3~4回(9:30~15:00)		
	<p>「はるひ野、黒川地区の里山環境を保全し次代へ継承したい。」という思いで活動を初めてから18年になりました。黒川谷ツ公園には、様々な里山環境(田んぼ、小川、林、湿地、草地)が残されています。2022年12月末で、1,646種類の動植物や菌類を確認しています。里山環境の保全の活動や外来種駆除活動のほかに、生き物を観察・調査・記録することを活動としています。また、公園開放日の来園者へのガイドに努め、他に知らせる活動としては、春の里山散策デーの開催、はるひ野小学校4年生の総合学習サポートなどを行っています。</p> <p>◎ <b>春の里山散策デー(4月24日)では、来園者に、外来種の「ヤセウツボ」抜きにご協力を呼び掛けたところ、合計9.5kgの「ヤセウツボ」が除伐されました。</b></p>			
				
	<p>〈里山散策デーで来園者が協力〉</p>		<p>〈11月 秋の活動報告会〉</p>	
	<p>◎ <b>11月「秋の活動報告会」では、林床作業の報告を多く取り上げました。林内の動画を紹介しながら、具体的な活動・作業内容や使用する電動器具を紹介しました。</b></p>			
2022年度のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の春の散策デーは、85名の参加がありました。今年度は、参加者に「観察ガイド」と「園内マップ」を配布し、自由散策しながら園内の自然や展示物を楽しんでいただきました。</li> <li>・3年ぶりに神奈川県立生命の星・地球博物館の「外来種アメリカザリガニ」講座が黒川谷ツ公園で開催されました。アメザリの生態を学び、実際に駆除体験をしてもらいました。</li> <li>・秋の活動報告会では、林床での作業や使用する電動器具を動画で紹介しました。</li> <li>・ナラ枯れ3年目を迎えた今年度は、継続調査に加え危険木パトロールを強化しました。また、落下枝の回収や園路の安全点検について、昨年以上に注力しました。麻生区役所道路公園センターとは、情報の共有化に努めました。</li> </ul>			
課題	過去の蓄積された経験とデータの活用と、新たなWEB知識の導入で持続可能な運営スタイルを構築する。地域の応援を得られるように協力体制を構築する。			
参加上の案内	<input type="checkbox"/> 会員募集中 <input type="checkbox"/> 体験参加者募集中(受入れ態勢あり) 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前：原 栄一 住所：〒215-0035 麻生区黒川148-1 TEL: 080-7961-1433 E-mail: haruhinosatoyamagakko@gmail.com			
連絡先	同上。ホームページもご覧ください： <a href="https://haruhinosatoyama.jimdo.com/">https://haruhinosatoyama.jimdo.com/</a>			

【2022年10月16日イベント 神奈川県立生命の星・地球博物館主催 はるひ野里山学校共催】  
～～「本当は怖いアメリカザリガニ ー最悪の水辺の外来種について勉強しようー」～～



環境省のホームページより  
「アメリカザリガニ対策の手引き」  
P47とP48が【神奈川県川崎市】  
「はるひ野里山学校」のコラム記事  
です



環境省ホームページより  
「アメリカザリガニ対策の動画」  
アメリカザリガニ対策の普及啓発  
として、動画や学校用教材も用意  
されています。

【2023 年 6 月 1 日からアメリカザリガニが「条件付特定外来生物」に指定されます】

【2022年12月3日生物環境改善作業】神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員の苅部治紀様、  
および、神奈川トンボ調査・保全ネットワークの皆さまの応援を得て、作業をしました。

① 田んぼエリアの大木化した木が日陰を作ります。田んぼに陽が射しこむように、大木の芯止めと枝打ちや剪定をしました。



2022/10/16 撮影



2023/1/7 撮影

② 田んぼのヨシが密集しすぎたため、ヨシは根から切り取り、泥ごと引き上げました。



2022/10/1 ヨシが密集 2022/12/3 根切り作業中

③ 陸地化が進む田んぼは、池を3つ掘り、環境に変化を持たせて、水生昆虫増加を願う。



団体名	<b>水辺のある里山を守る会</b>		活動年数	14年
			メンバー数	45家族
活動紹介	活動場所	黒川よこみね緑地（麻生区はるひ野）		
	活動日	第2/第4土曜日 9時半～12時（水曜日も活動しています）		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>私たちが活動している黒川よこみね緑地は、麻生区はるひ野の住宅地に隣接する緑地です。湧き水が出る水路や池、それらを取り囲む樹林・竹林の斜面地と草地からなる豊かな自然に恵まれた里山です。</p> <p>水辺があることにより多くの昆虫、魚、カエルなどの生き物や山野草が生息し、アオサギ、カルガモ、カワセミなどの野鳥も飛来します。</p> <p>これ等の豊かな里山と生き物を守り、多くの人たちに自然に親しんで貰えるよう活動を始めました。</p> <p>活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湧き水のある水源や池、水路の保全</li> <li>2. 樹林の間伐と植樹、下草刈り</li> <li>3. 草地、畔の草刈り、広場や通路の整備</li> <li>4. 生き物の観察とその生息環境の保全及びモニタリング</li> <li>5. アメリカザリガニ等外来種の駆除と希少種の保護</li> </ol> <p>2017年より、地域の小学生を対象に、こども自然教室を開き、自然や生き物についての講座、観察、山野草を育てるなどの活動をしています。</p>			
2022年度のトピックス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ナラ枯れの被害の調査を行い川崎市に提出、被害木の伐採をお願いし、会員で伐採出来ない大径木や斜面の木を20本を伐採して頂きました。伐採した跡に、コナラ、クヌギの若木を植樹しています。</li> <li>2. コロナ禍の中でしたが、こども自然教室は屋外の活動を中心に、続けています。</li> </ol>			
課題	町内会のイベントへの参加等での会員募集で、新会員も増えてきましたが、女性会員も含め、更に会員を増やして行くことが課題です。			
参加上の案内	<p>■ 会員募集中</p> <p>■ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり）</p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	名前 織野 章	住所 〒215-0036 麻生区はるひ野3-14-1	電話 090-7181-3090	E-mail <a href="mailto:ao150590@gmail.com">ao150590@gmail.com</a>
連絡先	ホームページ: Kawasaki.genki365 から検索 → 水辺のある里山を守る会			

# 水辺のある里山を守る会 活動状況



こども達の工作教室



こども達とノハナショウブの苗植え



ナラ枯れ被害木の伐採と片付け



こども達とクリスマスリース作り

団体名	<b>黒川 里楽塾</b>		活動年数	10年
			メンバー数	10名
活動紹介	活動場所	麻生区黒川字明坪・黒川明坪緑の保全地域		
	活動日	毎月木曜日(主として第2、第4)		
	<p>活動を始めた背景と活動内容、その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 緑の保全活動に関わる期待、興味・関心があった。 平成23、24年度2年間の農地課主催研修会を修了したことで、実践的な活動の場が与えられ、またチームワークが出来た。</li> <li>2、 樹木の伐採、下草の刈払い、竹林間伐、落ち葉を利用し堆肥作り。及び、無農薬野菜の生産など、四季を通じて農と里山保全に関わる。</li> <li>3、 新たに梅、柿、ブルーベリーなど果樹の栽培に挑戦。</li> <li>4、 通路、階段の新設と高木伐採により里山エリアの保全。</li> <li>5、 畑の復元・拡大、シイタケ栽培地の移転。</li> <li>6、 異常台風や豪雨、地震に因る崖崩れ等の自然災害への心構えと対処。</li> <li>7、 地元農家さんとの交流により多くのものを得ることが出来た。</li> <li>8、 稼働の減少に対応し新規参加者獲得が急務。それには、メンバーによる口コミと他団体との連携、活動内容の発信が功奏。</li> </ol>			
2022年度トピックス	◎ 域内のナラ枯れが、一年間の放置により全体に拡大したが、市の農地課の手配により10本程度伐採された。			
課題	◎ 今後のナラ枯れの推移を注意深く見守る ◎ 作業の現状維持に鋭意努力中			
参加上の案内	1、 会員募集中 2、体験参加歓迎(受入れ態勢あり) 3、寄付金受付 興味のある方は下記連絡先へ問い合わせ下さい。			
代表者	名前 小川 清			
代表代行連絡先	名前 小穴 誠 住所 〒215-0023 川崎市麻生区片平1-3-25-307 電話 070-5011-6597 E-mail <a href="mailto:oana3ariake@yahoo.ne.jp">oana3ariake@yahoo.ne.jp</a>			



団体名	<b>麻生多摩美の森の会</b>		活動年数	22年	
			メンバー数	58名	
活動紹介	活動場所	麻生区市民健康の森(麻生鳥のさえずり公園)麻生区多摩美2丁目22番地			
	活動日	毎月 第1土曜日、第3日曜日。予備日として第2、第4水曜日			
	【沿革】	<p>当会は1997年3月、川崎市が「かわさき健康都市」宣言を記念して「市民健康の森構想」を発表し、麻生区市民健康の森構想委員会、構想推進委員会等を経て2004年4月、設立総会を開催し麻生区市民健康の森の別称を、「麻生多摩美の森の会」とし、本格的な活動を開始しました。会の活動は「麻生区市民健康の森推進計画」「総会」「月1回の幹事会」などで協議、決定した計画に基づいて実施しています。</p> <p>【基本的な活動計画】</p> <p>1. 里山の自然環境の保全と創造                      2. 健康とレクリエーションの場づくり</p> <p>3. 地域コミュニティづくり、身近な防災拠点      4. 行政との協働作業で段階的成長を図る</p> <p>【現在行っている若い世代への継承の取り組み等】      (★):コロナ禍で「活動中止」</p> <p>現在、上記の項目の中の「1」里山の自然環境の保全活動に重点を置いている。</p> <p>西生田小学生(2年生)との交流活動、麻生プレーパークを創る会、たまみこども会、ふじのき台子ども会、夏と冬の星の観望会(★)、みらいっ子保育園等の若い世代が多摩美の森で緑を楽しんでもらっています。又、大きな目標としては当会を含めた5団体が管理している【多摩美緑地】(約10haの緑地帯)を今後とも次世代に残していく事が、我々の使命だと考えています。</p>			
2022年度のトピックス	<p>* 2022年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、2021年度に続き、毎年恒例の『植樹祭・収穫祭』、『星の観望会』を中止しております。その代わりに、人数を限定とした「作業体験会」を開催(2回目)致しました。作業体験後は、ピザ生地作りからトッピングを行い、ドラム缶の窯で焼いて森で収穫したサツマイモや里芋を堪能して頂きました。</p> <p>* 12月18日、万福寺人参・品評会に昨年に続き5回目の出品を行い、今年は「選外」。</p> <p>今後も引き続き、上位入賞を目指して活動を進めていきます。</p> <p>* 謎の石像を発見。大後友市氏が製作したもの。フジテレビの「めざまし8」で放映・紹介された。</p>				
課題	<p>* 会員の高齢化に伴い、活動範囲を制限せざるを得なく、在籍会員数はそれほど変わりません。幼稚園児や小学生が入会し、少しずつ会の若返りを図っています。</p> <p>* 会員の方だけではなく、近隣の皆様にも気楽に来て頂ける企画づくりに、森の会の発展・存続はかかっていると考えています。</p>				
参加上の案内	<p>* 随時、会員募集中。年会費1,000円(主に会員への通信費に使用) * 自分で出来る範囲を楽しんで無理をしない。* 関心のある方は、何時でもご参加ください。</p> <p>■会員募集中 ■体験参加募集中 ■寄付金などの受付中。興味のある方は下記へお気軽にご連絡ください。</p>				
代表者	名前 田中 肇	住所 〒215-0003 川崎市麻生区高石 4-17-3	電話 070-4468-7195	FAX 044-966-7079	E-mail tamaminomori@gmail.com
連絡先	同上	ホームページ: <a href="http://web-asao.jp/hp2/tamami/">http://web-asao.jp/hp2/tamami/</a>	Facebook: <a href="https://www.facebook.com/asaotamaminomorinokai/">https://www.facebook.com/asaotamaminomorinokai/</a>		

2022年11月20日(日)、「とろ〜りピザ付き作業体験会」を実施。1時間の作業参加を条件とし、参加者30名を①ウッドチップ制作班、②樹木剪定班、③カントリーヘッジ班に分かれて、多摩美の森の会の活動を体験して頂きました。最後に、ドラム缶で焼く、とろ〜りピザ作りを楽しんで頂きました。

### ① ウッドチップ制作班

指導員立ち合いのもと、ガーデンシュレッダーで樹木を粉砕します。安全第一！



子供達が落ち葉かきもしてくれ、森がキレイになりました。

粉砕したウッドチップを歩道に撒いて記念撮影。フカフカした歩きやすい道が完成です！



### ② 樹木剪定班



子どもたちもノコギリを使って樹々をカットしていきます。「剪定」だけではなく、ミカン狩りもしているみたいです。

### ③ カントリーヘッジ制作班

木の枝などで作る低い柵・生垣のことをカントリーヘッジと呼びます。景観にマッチする面白さだけではなく、枝を堆積させることにより重みで堆肥化していき、また昆虫の住処としても最適な環境ができるようです。



杭を打ち付け、柵状に枝を乗せました。

中村さんのレクチャーを聞く参加者のみなさま。左上に昨年の作業体験会で作成した鳥の巣箱が写っています。



**高石ふれあいの森は百合丘駅から13分**



**2009年植樹祭 阿部前市長**



**2016年11月イベント**  
**「初冬の隠れ里山を楽しむ ~冬支度の森を観察し、クリスマスリースも作りましょう！」**

**7年間で緑がいっぱいに**

**2023年間伐作業**



**2023年遊歩道完成**



**2022年4月キンラン**



**2022年4月ジュウニヒトエ**



施設名	社会福祉法人はぐるまの会 <b>はぐるま稗原農園</b>		活動年数	はぐるまの会設立から 38 年
			メンバー数	はぐるまの会全体で利用者 54 名
活動紹介	活動場所	はぐるま稗原農園 宮前区水沢 2-10-2 農作業 宮前区水沢・麻生区早野の各農地 ※尻手黒川道沿い、宮前区市民健康の森「水沢の森」の近くです		
	活動日	月曜～金曜 9:00～15:00		
		<p>はぐるまの会は、養護学校を卒業した青年・成人期の主に知的に障害をもつ仲間たち（利用者さん）が、力いっぱい働くための作業所と生まれ育った地域でずっと暮らしていくためのグループホームを運営している社会福祉法人です。 川崎市立稲田中学校の元教員たちが中心となり設立をしました。今年で創立 39 年を迎えます。（1983 年～）</p>		
		<p>はぐるまの会は、2つの作業所（農作業、縫製・パン等製造、かふえの運営）と、9ヶ所のグループホームを運営しています。この3年間のコロナ禍の影響で実施できませんでしたが、夏には登山合宿、冬にはマラソン大会などの行事に楽しく取り組んでいます。</p> <p>はぐるま稗原農園では、年間を通して農作業を行っています。地域の皆様に安心して食べてもらえるよう、農薬を使わず、協力団体等から提供いただく「生ごみたい肥」や、自家製堆肥などをできる限り多く使用して、健康で美味しい野菜づくりを実践しています。また、麻生区早野にある「はぐるまハーブ園」では、新たな名産品「かわさきハーブソーセージ」、「は一ぶこーでいある」用のハーブの大規模な栽培もおこなっています。</p> <p>*畑での作業は、「自然の過酷さ」と「食べ物の生まれる瞬間を目の当たりにする感動」を同時に体験できる素晴らしいものです。当初の目的は障害の重い方の為の情緒安定の場（園芸療法として役割）としての位置付けでしたが、障害の程度に関係なく、力いっぱい働く喜びを体感できる農作業は、現在では無くてはならない仲間たちの社会参加の手段、誇れる仕事となりました。</p>		
		<p>毎週、月・木曜日 9:00～12:00 にお手伝いをいただける農業ボランティアさんを大募集中です！ 現在、地権者さんのご厚意により、現在約 500 坪の農地を活用させていただきながら、安全・安心な美味しい野菜&amp;ハーブ栽培を実践中です。是非、はぐるま稗原農園&amp;早野ハーブ園へお立ち寄りください！</p>		
2022 年度のトピックス	早野地区で新たに 600 坪の農地を借り受けることができました。利用者の方々がより農業活動へ積極的に関われる形を模索していきます。2022 年度は近隣の東柿生小の 5 年生の子供たちと小麦の種まき、麦ふみを共働する機会をいただきました。様々な加工品の原料となる小麦栽培を今後も継続し、地域の子供たちはじめ多くの方と発展できればと願っています。			
課題	知的に障害をもつ方々が継続できる農業の在り方を多くの方々と模索していきたいと考えています。農産物直売所の運営や野菜とハーブの販売先の開拓、ハーブソーセージ等の加工品の開発など、農作業に関係したもので工賃が補償できるよう努力中です。			
連絡先	社会福祉法人はぐるまの会 はぐるま稗原農園(名称がはぐるま工房から変更しました) E-mail <a href="mailto:koubou@hagurumano-kai.com">koubou@hagurumano-kai.com</a> TEL & Fax 044-920-9411 責任者 新井 法人本部：(社福) はぐるまの会 多摩区菅馬場 1-19-24 (住所変更しました) TEL & Fax 044 (946) 1308			

団体名	<b>麻生プレーパークを創る会</b>		活動年数	16年
			メンバー数	世話人10名
活動紹介	活動場所	万福寺さとやま公園 体験広場／多摩美の森（麻生区市民健康の森）		
	活動日	第1・3土曜日 10:00～17:00 プレーパーク開催 万福寺さとやま公園を中心に、年に4～5回多摩美の森でも開催しています。開催日はチラシやTwitterをご確認ください。 (8月はキャンプ開催のためプレーパークはお休みです)		
<p>「麻生区の豊かな自然の中に、子ども達が思い切り遊べる遊び場（プレーパーク）が欲しい！」と平成18年 麻生市民館 市民自主企画事業で集まったメンバーで発足しました。</p> <p><b>プレーパーク（冒険遊び場）とは</b></p> <p>「自分の責任で自由に遊べる場」</p> <p>「自然の中で、作り替えの要素がある手作りの遊び場」</p> <p>「いつ来ても誰かいる、地域の人たちも集うことのできる場」</p> <p>0歳から18歳の子どもが対象の遊び場ではありますが、地域の中で地域の人たちとゆるくつながりながら、子育てを考えたり、一緒に遊んだり、成長したりする場を作りたいと、活動を続けています。</p>				
<p>ゆめ基金のプログラムでみんなでゴミ拾いや落ち葉集めもしました。</p>			<p>のこぎりや金づちが使える工作コーナーはいつも人気です。</p>	
2022年度のトピックス	<p>子どもゆめ基金から助成を受けて、年に22回のプレーパークを開催しました。活動プログラムに清掃活動なども行い、楽しく、遊びながら取り組んでいます。</p> <p>長く活動してきたせいか、今年は出張プレーパークの依頼や、みんなの校庭開放プロジェクトからのスタッフ依頼、地域デザイン会議への参加等、新たな機会が増えました。引き続き積極的に子ども達の遊びについて発信をして行きたいと思っています。</p>			
課題	<p>継続的な活動を続けるために、プレーリーダー（遊びの専門家）を雇用し、消耗品購入のための資金が必要です。2023年度も子どもゆめ基金の助成金を申請中ですが、助成受給ができない年もあり、安定的な活動資金捻出が課題です。また、活動が長いわりに、認知度が低い、発信力が少ないため、HPの作成やTwitterの活用等、通信の発行等、情報発信の機会を作りたいと思っています。会の広報担当、営業担当募集中です。</p>			
参加上の案内	<p><b>■世話人・ボランティアスタッフ募集中！</b></p> <p>子育てや地域の仲間づくりに、一緒に遊び場を創ってくださる方を募集しています。外遊び、子どもとの関わり、自然遊びに興味・経験のある方は是非！！特に広報、PRが得意な方、あさぶれのPRを手伝ってください。下記連絡先か、プレーパーク開催時に直接お越しください。</p> <p><b>■寄付、カンパにご協力ください！！</b></p> <p>現在、寄付とあさぶれキャンプなどの自主事業で活動を続けています。プレーリーダーの人件費、道具や材料代に充てていますので、ご協力をお願いします。</p>			
代表者 & 連絡先	<p>名前 飯野 優子 住所 川崎市麻生区細山 電話 090-1791-6747 プレーパーク開催日は Twitter 「あさぶれ（公式）」で検索</p>			

団体名	<b>い あさお 生きごみ隊</b>		活動年数	17年6ヶ月
			会員数	11名
活動紹介	活動場所	麻生区古沢の堆肥小屋と畑		
	活動日	毎週 木曜日 他		
	<p><u>農家とつなぐ家庭生ごみリサイクル</u></p> <p>●目的</p> <p>① 家庭の生ごみを堆肥化し、ごみの減量を推進する。  ② 生ごみ堆肥を農家に提供し、農家との交流により農業への理解を深める。  ③ 生ごみ堆肥で野菜を栽培し、その野菜を食し、生ごみを堆肥とする。  この資源循環の輪を作りつつ、豊かな自然と農を守る。</p> <p>●活動内容</p> <p>① 農家鈴木宏平さんのご協力により 2005 年活動を開始。家庭でボカシをふりかけ容器に保管した生ごみを、月に 2 回、鈴木さんの農地に作った堆肥小屋に持ち寄り、種堆肥に混ぜ合わせる。その後熟成させ、できた堆肥は夏と冬の終わりの年 2 回に鈴木さんに提供している。</p> <p>② 鈴木さんの畑を借り、できた生ごみ堆肥で野菜を栽培し堆肥の効果を確認。</p> <p>③ 2016 年度から、生ごみを直接畑の土に混ぜ熟成させる「土ごと発酵」を行い、その畑で野菜を栽培し、効果を確かめることができる。</p> <p>④ 全て無農薬・無化学肥料による。2022 年には、ジャガイモ、タマネギ、ミニトマト、つるなしインゲン、ナス、キュウリ、万願寺トウガラシ、シシトウ、サツマイモ、万福寺ニンジン、ミニダイコン等を栽培し、収穫した。</p> <p style="text-align: center;">ジャガイモ収穫 (2022 年 6 月) <span style="margin-left: 200px;">サツマイモ収穫 (2022 年 9 月)</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
課題	活動の継続と拡大			
参加の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会員募集中 (家庭の生ごみを運んでくることができる方、野菜栽培に興味がある方)</li> <li>■ 家庭生ごみ堆肥を受け入れます。 関心のある方は下記連絡先へご連絡ください。</li> </ul>			
代表者	山崎 優 住所〒215 -0006 麻生区金程 1-10-6 電話 966-4438 FAX 966-4483			
連絡先	奥山玲子 住所〒215-0014 麻生区白山 1-2-3-104 電話 987-7335 FAX 987-7335			

団体名	<b>い あさお生きごみ隊</b>		活動年数	17年6ヶ月
			会員数	11名
活動紹介	活動場所	麻生区古沢の堆肥小屋と畑		
	活動日	毎週 木曜日 他		
	<p><b>農家とつなぐ家庭生ごみリサイクル</b></p> <p>●目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭の生ごみを堆肥化し、ごみの減量を推進する。</li> <li>② 生ごみ堆肥を農家に提供し、農家との交流により農業への理解を深める。</li> <li>③ 生ごみ堆肥で野菜を栽培し、その野菜を食し、生ごみを堆肥とする。 この資源循環の輪を作りつつ、豊かな自然と農を守る。</li> </ol> <p>●活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 農家鈴木宏平さんのご協力により2005年活動を開始。家庭でボカシをふりかけ容器に保管した生ごみを、月に2回、鈴木さんの農地に作った堆肥小屋に持ち寄り、種堆肥に混ぜ合わせる。その後熟成させ、できた堆肥は夏と冬の終わりの年2回に鈴木さんに提供している。</li> <li>② 鈴木さんの畑を借り、できた生ごみ堆肥で野菜を栽培し堆肥の効果を確認。</li> <li>③ 2016年度から、生ごみを直接畑の土に混ぜ熟成させる「土ごと発酵」を行い、その畑で野菜を栽培し、効果を確認することができている。</li> <li>④ 全て無農薬・無化学肥料による。2022年には、ジャガイモ、タマネギ、ミニトマト、つるなしインゲン、ナス、キュウリ、万願寺トウガラシ、シシトウ、サツマイモ、万福寺ニンジン、ミニダイコン等を栽培し、収穫した。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ジャガイモ収穫（2022年6月）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>サツマイモ収穫（2022年9月）</p>  </div> </div>			
課題	活動の継続と拡大			
参加の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会員募集中（家庭の生ごみを運んでくることができ、野菜栽培に興味がある方）</li> <li>■ 家庭生ごみ堆肥を受け入れます。 関心のある方は下記連絡先へご連絡ください。</li> </ul>			
代表者	山崎 優 住所〒215-0006 麻生区金程 1-10-6 電話 966-4438 FAX 966-4483			
連絡先	奥山玲子 住所〒215-0014 麻生区白山 1-2-3-104 電話 987-7335 FAX 987-7335			

団体名	<b>い あさお生きごみ隊</b>		活動年数	17年6ヶ月
			会員数	11名
活動紹介	活動場所	麻生区古沢の堆肥小屋と畑		
	活動日	毎週 木 曜日 他		
	<p><u>農家とつなぐ家庭生ごみリサイクル</u></p> <p>●目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭の生ごみを堆肥化し、ごみの減量を推進する。</li> <li>② 生ごみ堆肥を農家に提供し、農家との交流により農業への理解を深める。</li> <li>③ 生ごみ堆肥で野菜を栽培し、その野菜を食し、生ごみを堆肥とする。 この資源循環の輪を作りつつ、豊かな自然と農を守る。</li> </ol> <p>●活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 農家鈴木宏平さんのご協力により 2005 年活動を開始。家庭でボカシをふりかけ容器に保管した生ごみを、月に 2 回、鈴木さんの農地に作った堆肥小屋に持ち寄り、種堆肥に混ぜ合わせる。その後熟成させ、できた堆肥は夏と冬の終わりの年 2 回に鈴木さんに提供している。</li> <li>② 鈴木さんの畑を借り、できた生ごみ堆肥で野菜を栽培し堆肥の効果を確認。</li> <li>③ 2016 年度から、生ごみを直接畑の土に混ぜ熟成させる「土ごと発酵」を行い、その畑で野菜を栽培し、効果を確認することができている。</li> <li>④ 全て無農薬・無化学肥料による。2022 年には、ジャガイモ、タマネギ、ミニトマト、つるなしインゲン、ナス、キュウリ、万願寺トウガラシ、シシトウ、サツマイモ、万福寺ニンジン、ミニダイコン等を栽培し、収穫した。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ジャガイモ収穫（2022年6月）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>サツマイモ収穫（2022年9月）</p>  </div> </div>			
課題	活動の継続と拡大			
参加の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会員募集中（家庭の生ごみを運んでくることができ、野菜栽培に興味がある方）</li> <li>■ 家庭生ごみ堆肥を受け入れます。 関心のある方は下記連絡先へご連絡ください。</li> </ul>			
代表者	山崎 優 住所〒215 -0006 麻生区金程 1-10-6 電話 966-4438 FAX 966-4483			
連絡先	奥山玲子 住所〒215-0014 麻生区白山 1-2-3-104 電話 987-7335 FAX 987-7335			

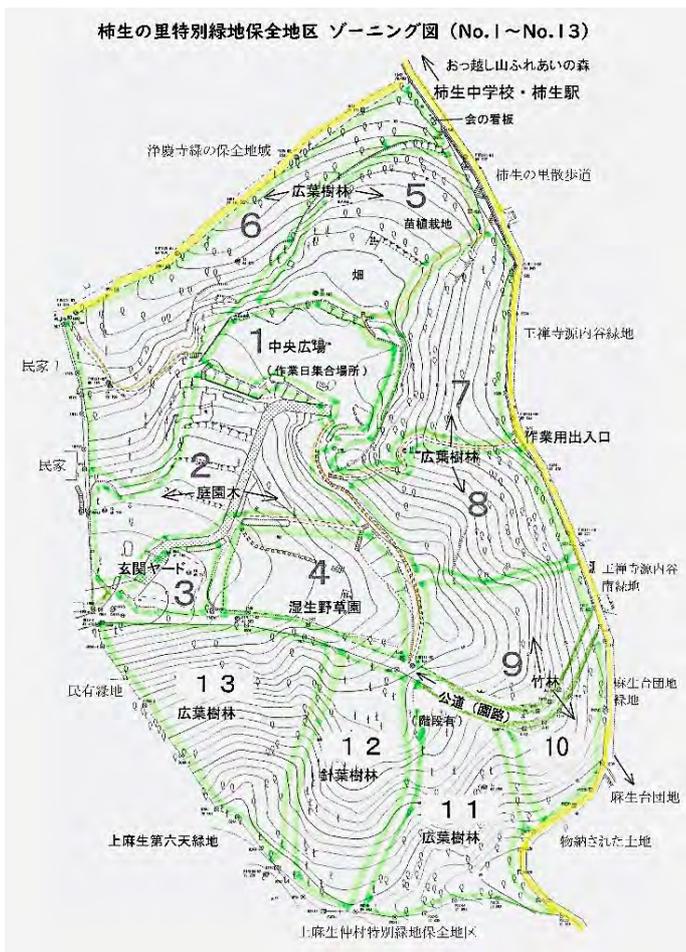
団体名	<b>森もいクラブ</b>		活動年数	18年																																								
			メンバー数	40名																																								
活動紹介	活動場所	向原の森保全地区（通称くじらの森、向原南緑地、向原北緑地、向原緑地）																																										
	活動日	毎月第2土曜日9時30分から15時まで（雨の場合翌週日曜日）																																										
<p>活動を始めた背景 向原の里保全地区が保全されたことをきっかけにして、地域の緑地の保全管理活動を始めました。</p> <p>活動内容 地域の緑地の保全管理をすすめるとともに、緑の保全活動をとおして地域のネットワーク作りも目指しています。</p> <p>管理活動・勉強会・観察会・地域地の交流（総合学習、イベント開催、イベント参加など）</p> <p>「ゾーニングー森のエリア区分」</p>																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>記号</th> <th>ヒトの進入</th> <th>エリア名・管理テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">くじらの森 (向原の里特別緑地保全地区・向原南緑地)</td> <td>A</td> <td>-</td> <td>観察エリア ～キンラン等の希少種を観察できるようにする～</td> </tr> <tr> <td>B1</td> <td>★</td> <td>景観エリア ～雑木林の景観をみせる～</td> </tr> <tr> <td>B2</td> <td>★</td> <td>つながりエリア ～森の外と中の繋がりを意識する～</td> </tr> <tr> <td>B3</td> <td>★</td> <td>隠れ家エリア ～野鳥や動物の隠れ家にする～</td> </tr> <tr> <td>C1</td> <td>★★</td> <td>アカマツエリア ～アカマツ林を再生する～</td> </tr> <tr> <td>C2</td> <td>★★</td> <td>草原エリア ～在来種の草原をつくりだす～</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>★★★</td> <td>ふれあいエリア ～レクリエーション広場として活用する～</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">向原緑地・向原北緑地</td> <td>E</td> <td>★</td> <td>タケ活用エリア ～活用できる竹林として管理する～</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>-</td> <td>タケ抑制エリア ～タケの繁茂を可能な限り抑制する～</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>-</td> <td>安全巡視エリア ～危険木のモニタリングを行う～</td> </tr> <tr> <td>千代ヶ丘小学校</td> <td>H</td> <td>★★★</td> <td>槽保護エリア ～五色八重咲散槽の健全な育成と保護を行う～</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">ヒトの進入頻度の凡例 - : 進入させない ★ : 原則進入させない ★★ : 条件的に進入させる ★★★ : 進入させる</p>					場 所	記号	ヒトの進入	エリア名・管理テーマ	くじらの森 (向原の里特別緑地保全地区・向原南緑地)	A	-	観察エリア ～キンラン等の希少種を観察できるようにする～	B1	★	景観エリア ～雑木林の景観をみせる～	B2	★	つながりエリア ～森の外と中の繋がりを意識する～	B3	★	隠れ家エリア ～野鳥や動物の隠れ家にする～	C1	★★	アカマツエリア ～アカマツ林を再生する～	C2	★★	草原エリア ～在来種の草原をつくりだす～	D	★★★	ふれあいエリア ～レクリエーション広場として活用する～	向原緑地・向原北緑地	E	★	タケ活用エリア ～活用できる竹林として管理する～	F	-	タケ抑制エリア ～タケの繁茂を可能な限り抑制する～	G	-	安全巡視エリア ～危険木のモニタリングを行う～	千代ヶ丘小学校	H	★★★	槽保護エリア ～五色八重咲散槽の健全な育成と保護を行う～
場 所	記号	ヒトの進入	エリア名・管理テーマ																																									
くじらの森 (向原の里特別緑地保全地区・向原南緑地)	A	-	観察エリア ～キンラン等の希少種を観察できるようにする～																																									
	B1	★	景観エリア ～雑木林の景観をみせる～																																									
	B2	★	つながりエリア ～森の外と中の繋がりを意識する～																																									
	B3	★	隠れ家エリア ～野鳥や動物の隠れ家にする～																																									
	C1	★★	アカマツエリア ～アカマツ林を再生する～																																									
	C2	★★	草原エリア ～在来種の草原をつくりだす～																																									
	D	★★★	ふれあいエリア ～レクリエーション広場として活用する～																																									
向原緑地・向原北緑地	E	★	タケ活用エリア ～活用できる竹林として管理する～																																									
	F	-	タケ抑制エリア ～タケの繁茂を可能な限り抑制する～																																									
	G	-	安全巡視エリア ～危険木のモニタリングを行う～																																									
千代ヶ丘小学校	H	★★★	槽保護エリア ～五色八重咲散槽の健全な育成と保護を行う～																																									
2022年度のトピックス	ナラ枯れ対策、希少種の保存、赤松林の再生など積極的に取り組みました。																																											
課題	会員の高齢化などで新たな人材の確保が必要です。ナラ枯れなどによる危険木の処理など。																																											
参加上の案内	会員募集中です。お問い合わせは事務局まで（柳平 090-5565-8938）																																											
代表者	名前 海野 芳彦 電話 080-5452-1180 E-mail prs-yoshihiko@hotmail.co.jp																																											
連絡先	名前 柳平 美智子 電話 090-5565-8938 FAX 044-954-2263 E-mail m.yanagihira@jcom.home.ne.jp																																											



団体名	柿生の里クラブ		活動年数	13年
			メンバー数	30人
活動紹介	活動場所	柿生の里特別緑地保全地区（上麻生7丁目6番、7番）		
	活動日	定例活動日 第2日曜日・第4水曜日 9:30集合～12:00頃 お互いに連絡を取り合い随意、随時の活動も多い		
【案内】	柿生駅から徒歩10分、浄慶寺隣接の面積19,000㎡の緑地です。			
【動機】	2009年「柿生の里特別緑地保全地区」が都市計画決定され「おっ越し山ふれあいの森」から連続した多摩丘陵の尾根筋のコアとなる場所が残され、「柿生の里散歩道」上の貴重な場所となりました。2010年3月ここを「未来へ手渡す豊かな多摩丘陵」として保全していこう！と「柿生の里クラブ」が誕生しました。			
【内容】	『地域の自然・歴史・文化を活かした昔ながらの里山の再生・10年計画』に基づき自然の変化を見ながら、作業や活動をしています。			
	<p>《 昔ながらの植生、谷戸地形を大切にしながら、土地の記憶を紐解く 》</p> <p>その昔ここが大きな農家(屋号:大谷オオヤト)の屋敷だった頃の佇まいを今に伝える風景と、次の所有者の植林木や庭の樹々を調査し、この緑地が歩んできた土地の記憶を紐解き、公共緑地としてどのような作業が適切なのか、次世代にどうつないでいくかを見極めて行きたい。</p> <p>《 動植物の復活と多様性を目指した作業 - 生態系の保全と育み 》</p> <p>柿生の街中の自然ですが、野鳥、昆虫、植物など生き物が賑わっています。動植物の記録を取りながら ・アズマネザサ、クマザサなどの下草刈り ・モウソウチクの除伐、間伐 ・樹木の間伐 ・外来雑草の除去 ・落葉で腐葉土作り ・湿性地の保全 ・植物の名札付けと保護 ・庭園木の保全 池(人工)の保全などを行っています。</p> <p>《 体験学習・環境学習の場として — 次世代への継承 》</p> <p>里山フォーラム in 麻生と協働で「あさお里山こどもクラブ」、「里地里山ナチュラリスト養成講座」を開催しています。「あさお里山こどもクラブ」の体験学習用畑では資源循環の一貫として腐葉土や灰を入れ込みながら山から畑への土づくりをしつつ、「大麦・小麦」、「万福寺人参」、「サツマイモ」などを栽培。</p> <p>《 定例活動日などには、緑地の見学・自然観察を歓迎しています 》</p> <p>・川崎市環境功労者賞 ・「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰</p>			
2022年度のトピックス	<p>* 柿生小学校5年生130名が3回+の里山学習をし、発表会を行いました。</p> <p>* 寄付金があり、県のチェーンソーや刈払機の講習会に5名参加できました。</p> <p>* 川崎市役所で福田市長から国土交通大臣表彰を授与されました。</p> <p>* ナラ枯れ枯死・危険木伐採(公道周辺)</p> <p>ナラ枯れ調査、危険木伐採要望を懇願し続け区道路公園センターに伐採してもらいました。調査などを通して植生別ゾーン図や作業計画の共有が進みました。</p> <p>* 貴重種の保全に努めました。</p> <p>自生のヤマユリ復活斜面の保全、キツリフネソウ、ニリンソウ群落地の保全、タマノカンアオイやイチヤクソウなどの群落保全、山全体のキンランの保全など。</p> <p>* 作業用園路を作りました。</p>			

〈 緑地を13のゾーンで把握しよう！ 〉

【柿生の里クラブ 活動の様子】



いつまで続く孟宗竹伐採。ここでは皆伐して雑木林に戻そうとするゾーンNo.10。ナチュラルリスト養成講座ではここの竹を伐って運んで黒川竹行燈の会の指導もと竹行燈を作る。 2023.2.12 - 2.25 - 3.4



市長さんから国土交通大臣表彰 会員皆が力を合わせてきた賜です。励みになります。2022.7.5

〔柿生こども文化センター 落葉かき〕〔あさお里山こどもクラブ 竹カップ作り〕〔柿生小5年 里山学習〕



<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ナラ枯れ対策と森づくり 残置木をどうするか。今後も続くナラ枯れへの対処要望と今後の森のあり方を検討し実施する。大径木の樹々の伐採 求む 林業女子男子</li> <li>■ 四季の緑地見学会実施のための協働組織 防犯防災上の危険の回避策、竹の管理と利活用などを共に考え実施する会の立ち上げ。</li> <li>■ 専門家の派遣と協働 谷戸地形による湿地性を活かす具体的な方策 椿、梅、桜、禅寺丸柿、紅葉など庭木の剪定など</li> <li>■ 緑の小舟のような公共緑地帯のランドデザイン会議 柿生地区に残された貴重な歴史環境保全地区として全国緑化フェアを機に立ち上げる必要があるのでは。</li> </ul>
<p>参加上の案内</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体験ボランティア募集中 (道具などは用意してます) ■ 寄付などを受付中</li> <li>■ 会員募集中 (年会費 1,000 円) ■ 事務局などのスタッフ募集中</li> </ul> <p>作業日にお声かけくださるか、下記へご連絡ください。</p>
<p>代表者 副代表 副代表</p>	<p>石井よし子 TEL 070-6426-6123 E-mail ishiiyoshiko.works@gmail.com              雛倉 正人 TEL 090-1215-0979 E-mail GZL12435@nifty.com              高橋 靖 TEL 090-4398-5513 E-mail otmariners@gmail.com</p>

団体名	<b>まちはミュージアムー遊歩道ファンクラブ</b> <b>(おっ越し山クラブ)</b>		活動年数	24.5年
			メンバー数	(10人)
活動紹介	活動場所	おっ越し山とその周辺および(柿生の里特別緑地保全地区)		
	活動日	定例活動 第1水曜日、第3水曜日(第2日曜日、第4水曜日)ほか随時		
場所	「おっ越し山ふれあいの森」は、「柿生の里の散歩道」の丘陵への入口となり、柿生中学校に隣接。1995(平成7)年に自然環境保全地域に指定された。			
背景	<p>1. 麻生区初の遊歩道「柿生の里の散歩道」の自然と歴史を次世代に繋ぎたい。</p> <p>2. 都市開発が進み地形の改変が顕著になり、多摩丘陵としての暮らしの原風景が消えて行く中で、「おっ越し山ふれあいの森」がご寄付で残されたことに感謝したい。</p> <p>3. 地域に残されたおっ越し山であったが、アズマネザサとヒサカキに覆われ暗い森になっていて、子どもたちにも親しまれていない状況を何とかしたい。</p> <p>4. 麻生地域セミナー1990-1997(街かど探偵団～まちはミュージアム)で横浜市の舞岡公園での市民の関わり、多摩市の桜ヶ丘公園雑木林ファンクラブの活動などを現地学び、また「麻生区で子どもが遊べる公園を考える会」の長年の活動を経ている。</p> <p>5. 川崎市という公共の土地に将来にわたり身の丈で責任が持てる所を考えたい。</p> <p>などの思いが、仲間の賛同と協働を得て1998(平成10)年9月活動開始。森づくりを含めた「緑のボランティア活動」が川崎市域では初めてでもあったのか、折にふれ緑政部の専門知識と技術を持った職員が協力してくれた。</p>			
方針	2001(平成13)年3月「おっ越し山の森づくり保全管理計画書」が策定され、基本理念【■もともとあった里山に近づける ■緑のネットワーク ■循環利用 ■歴史性を再現する】と保全目標、ゾーン別管理計画などができた。 <b>※次ページの課題参照</b>			
活動内容	<p><b>森づくり</b> ヒサカキの間伐、アズマネザサの草刈りを継続している。</p> <p><b>場づくり</b> 小さな広場が4か所あるが、ベンチのなかった2ヶ所に柿生の里の孟宗竹でベンチを作ったところ、みんながホッと休憩する場所となった。人の手が入っているという安心感も醸成されたようで、ごみが減少し、いたずらも減った。私たちには通りすがりではない「まちの当事者」としての意識が高まった。</p> <p><b>花壇づくり</b> 入口部分の瓦礫を撤去し落葉の堆肥を入れながら四季の花が咲く花壇にし、大変喜ばれている。道行く人との会話も増えた。カラムシ、ジュズダマも保全し、環境学習に役立てている。</p> <p><b>自然の復活</b> 適度なお世話をすると自然からの贈り物があることを実感。自生のヤマユリが多く復活している。キンラン、ギンラン、キバナアキギリ、シュンラン、オカトラノオなど。</p> <p><b>活動資金を得たことで</b> 2001年都市緑化基金に応募し「第1回花王みんなの森づくり活動助成団体」に選定された。活動をしていく上での基本的な道具や倉庫の購入が出来、看板を作って地域への広報が可能になった。また里山フォーラム in 麻生を立上げてみようという力になり、麻生市民館に提案し現在に至っている。</p> <p>●里山フォーラム in 麻生と協働で講座・イベントの企画運営を行っている。</p> <p><b>励みとなった賞</b> ・川崎市環境功労者賞 ・麻生区花と緑のコンクール奨励賞 ・神奈川県自然保護功労者賞(2011年) ・みどりの愛護功労者国土交通大臣賞(2014年)</p>			



都市の緑は貴重な宝物です。  
みんなで守って次世代へ繋いで行きましょう。

市街化区域に残された「緑の小舟」  
柿生の歴史環境保全地域でもある



<p>2022 年度の トピッ クス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柿生小学校5年生の里山学習が行われました。</li> <li>・2クラスずつ時間差でおっ越し山・柿生の里へ</li> <li>・ナラ枯れ伐採木の搬出は今年度は行われず山が残置木でいっぱいといった状態。</li> <li>・大改修中(ヘッジ置換、土留め、ベンチ製作、腐葉土置場修理など)</li> </ul>
<p>課題</p>	<p><b>こども花壇</b>：山の腐葉土を利用した、こどもたちによる花植え体験  <b>植樹祭</b>：中学校にはたらきかける。里山体験学習や木工作品づくりなど  <b>座談会の開催</b>：柿生駅前町会、学校、企業、商店など多様な主体に集ってもらい、おっ越し山の基本計画を見直し、「緑の小舟という公共の場」を話し合う機会の創出。  <b>踏査の記録</b>：歩いて・見て・考え、まちづくり・地域づくりを学んだ積年の踏査の記録</p>
<p>参加上の案内</p>	<p>■ 会員募集 ■ 体験ボランティア募集 ■ 事務局募集 ■ 寄付歓迎          作業日にお声かけくださるか、下記へご連絡ください。</p>
<p>代表者 チーフ 幹事</p>	<p>石井よし子 TEL 070-6426-6123 E-mail ishiiyoshiko.works@gmail.com          瀧孔一郎 TEL 090-9235-1214 上條正雄 TEL &amp; FAX 044-989-8751          石井信 080-6790-1218 高部 080-5388-0736 宮河 090-3593-0387 清水 090-3507-9908</p>

団体名	<b>虹ヶ丘おやじの会</b>		活動年数	23年
			メンバー数	15名
活動紹介	活動場所	虹ヶ丘公園		
	活動日	毎月第2週、第4週（日曜日）		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>1998年に虹ヶ丘コミュニティルームを開設し地域の男性達が「飲み会」を機会に「地域にできる事を」と翌年公園の清掃活動を始め、街路樹、花壇作りや手入れなど始めた。</p> <p>活動内容</p> <p>今年度も、例年通り地域安全、安心をテーマ掲げ公園内の低木剪定、草刈り、高木の伐採等、活動をしています。</p> <p>その他、例年地域自治会行事（餅つき、夏祭り、琴平神社の祭り）もコロナ影響中止となっております。</p> <p>令和5年度は、地域行事が開催される事を願っております。</p>			
2022年度のトピックス	虹ヶ丘公園も、ナラ枯れの樹木を発見し、公園事務所に連絡し処分をお願いしました。同時にミズナラ、コナラ等の切り株に発生する「カエンタケ」強い毒性危険防止に、ポスターを公園に張り紙し、地域住民にお知らせしました。幸いにも事故がありません。			
課題	虹ヶ丘公園内の桜が、ほぼ老木状態で枯れ枝が多くなりました。事故防止の為、事前に枯れ枝の伐採等しております。できる事なら、少しずつ桜の植え替えが出来るよう行政に、お願いしたいです。会員からのお願いです。			
参加上の案内	おやじの会も創立23年経過しました。高齢者が中心です。昨年発行しておりますマンスリーレポートを見ていただき、2名の若者が入会して活躍しています。まだまだ、会員を増やしたいところです。皆さんの入会を待っております。興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前 佐々木 昭男	住所 麻生区虹ヶ丘3-1-406		
	電話 987-0894	E-mail : sasagcy@nifty.com		
連絡先	名前 児玉 俊臣	住所 麻生区虹ヶ丘1-3-1		
	電話 986-9115	E-mail : njoyaji@jcom.home.ne.jp	ホームページなど	

# 虹ヶ丘おやじの会マンスリーレポート

## 2023年1月号 NO.32

# 賀正

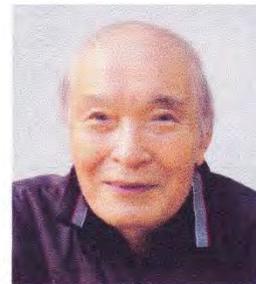
2023年1月10日発行 発行人 佐々木昭男（3丁目） 編集人 横山 徹（1丁目）

### 新年のご挨拶 おやじの会 会長 佐々木昭男

新年明けましておめでとうございます。

昨年も、「地域の安全」を念頭に、公園の整備、美化活動を実施いたしました。麻生区において、依然、警察署に子供さんを対象にした「不審者情報」の連絡が数多く寄せられたそうです。

幸い、最近虹ヶ丘公園での不審者情報は、聞いておりませんので、おやじの会としては嬉しい事です。新型コロナは、終息するには時間がかかりますが、会員一同、昨年同様「安全、安心の公園」を維持出来るよう、本年も活動いたします。地域の皆様、ご協力よろしくお願いたします。



### 11月の活動報告

#### 🍀11月13日(日)

ゆめが丘頂上から東側通路側のり面にかけて広範囲の草刈作業と虹小北側通路沿いの草刈を実施 参加人員 9名

#### 🍀11月27日(日)

- ① 倉庫前樹木(罹病?)の伐採
  - ② ゆめが丘の残草の草刈り
  - ③ 藤棚横ブッシュ内雑草の草刈り
  - ④ 最後は全員でゆめが丘草刈り後の集約処分
- 参加人員 11名



桜広場の整備作業



小学校北側通路の整備作業



ゆめが丘の整備作業



藤棚付近整備作業



バス通り側の整備作業

### 12月の活動報告

🍀12月11日(日) 街路樹の整備作業実施。コンビニ MINI STOPの前から虹ヶ丘団地バス停までの区間の下草や、落ち葉など街路樹の整備作業を実施。最後は今年もお世話になった道具達をきれいに整理して、おやじの会の年末作業はすべて終了しました。住民の皆様、ご協力ありがとうございました。参加人員8名



街路樹整備作業 (MINI STOP 付近)



### 1月・2月の予定

1月7日(土)はコミュニティルームの大掃除です。活動開始は、1月22日からになります  
2月12日(日)と26日(日)です。

機材倉庫整理整頓



おやじの会は、いつも会員を募集中です！ ぜひご参加ください。  
お問い合わせは、事務局(児玉 電話 044-986-9115)までお願いいたします。

団体名	花と市民参加の会 “コスモス”		活動年数	28年
			メンバー数	13名
活動紹介	活動場所	川崎市麻生区白山4-6地先 白山3号線 (白山西緑地脇) (むじなが池公園北側の一方通行道路沿い)		
	活動日	定期活動、月1回(第2火曜日午後) 自主活動随時		
	<p>400mの一方通行道路で、ケヤキの植え込み、歩道脇緑地を花壇にして草刈り、種まき、水やり 清掃などをして季節ごとの管理をしています。</p> <p>この道路は元々雑草の生い茂る暗い道で、粗大ごみの不法投棄もあり治安上も不安な場所でした。当団体を結成する10年前から5~6人の有志で活動していましたが、行政と連携して活動するために14年9月 花と市民参加の会”コスモス”を結成しました。400mと長い活動地域なので5ブロックに分けグループごとにエリアと担当して活動しています。</p> <p>現在、年々草花が根付いてきて景観が整ってきたことにより、散歩やジョギングのコースとして写真の撮影スポットとして近隣の方々に親しまれています。</p>			
2022年度のトピックス	<p>環境省「地域環境美化功労者表彰」に選ばれ7/27に麻生区役所にて表彰式が行われました。地味ですが、長年の活動が評価されて嬉しかったです。</p> <p>例年行っている、ケヤキの落ち葉清掃回収ですが、川崎授産学園さんに回収していただいています。腐葉土にしてもらって花壇に培養土として利用しています。</p> <p>廃棄されたり不要になった鉢を再利用して寄せ植えの鉢物も作成しています。</p>			
課題	<p>水道がないので、夏の水やりなどが大変苦労しています。</p> <p>ケヤキの根元の堅い土壌の改良</p> <p>参加者の固定化、高齢化</p>			
参加上の案内	<p><input checked="" type="checkbox"/> 会員募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 体験参加者募集中(受入れ態勢あり)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 寄付金などの受付中</p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	名前	蔵口淑子	住所	〒215-0014 川崎市麻生区白山3-1-2-504
	電話	987-5641		
連絡先	名前	川名慶子	住所	〒215-0014 麻生区白山4-5-1-404
	電話	090-6158-636		



**2022年花と市民参加の会 “コスモス”**



団体名	<b>吹込クローバーの会</b>		活動年数	12年
			メンバー数	14名
活動紹介	活動場所	麻生区上麻生 4 丁目 尻手黒川線 吹込交差点花壇と緑地帯 (274 m <sup>2</sup> )		
	活動日	毎週土曜日 2時から & 天候により随時メール発信		
	<p>【活動を始めた背景】</p> <p>吹込花壇は川崎市による「緑の景観づくり推進事業、王禅寺地域のみどりの軸線づくり」として 2004 年度に整備され、2009 年から一部の花壇で生ごみ堆肥による実験栽培を始めました。従来手入れされていたグループが解散しましたので「木こりの会」女子 4 名 が中心となり、2011 年 4 月に「吹込クローバーの会」を結成しました。</p> <p>【活動内容】</p> <p>生ごみ堆肥を活用し、無農薬、無化学肥料で管理する安心、安全な花壇づくり</p>			
 		<p>隣接する新築された小田急バス新百合ヶ丘営業所から水の供給を受けることができるようになり、会員一同安心。</p>		
2022年度のトピックス	<p>コロナ禍でもいつも通り続けることができ、このような活動の場があることに感謝しています。</p> <p>真福寺小学校の児童40名が「地域の気になるきれいなところに行っているいろいろ聞きたい」と訪問を受け、短い時間でしたが交流できました。</p>			
課題	<p>実際の活動は花壇にとどまらず敷地内の植栽帯の管理も行っているためメンバーが増えること。</p>			
参加上の案内	<p><input type="checkbox"/> 会員募集中 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 体験参加者募集中 (受入れ態勢あり)</span></p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	<p>名前 阿部 貴紅子</p> <p>E-mail 8kikilala-19721@ezweb.ne.jp</p>			
連絡先	同上			